

No.248

2021年
5月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

展示のご案内

展示期間 5月27日(木)まで

★メイン展示

「晴れた日を楽しもう」

風薫る5月となり過ごしやすい季節となりました。外へ出て楽しみませんか。

- ・ガーデニング
- ・Let's アウトドア
- ・お弁当を持って！

という3つのコーナーを設けました。



●メイン展示図書(抜粋)

「小さな庭の作り方」「キャンプで子育て」
「現役ママとっておき！おとな弁当&こども弁当」

★サブ展示

「父の日・母の日」

今年の母の日は「5月9日」、父の日は「6月20日」
おかあさんとおとうさんが登場する児童書をたくさん展示しています。ぜひ、お越しください。



寄贈ありがとうございます

★図書カードの寄贈

国際ソロプチミスト幡多から図書カード3万円分を寄贈していただきました。

ありがとうございました。

購入させていただいた図書は、新着コーナーに展示後、2階の「国際ソロプチミスト幡多文庫」に配架いたします。



★図書の寄贈

宿毛商工会議所青年部(会長 田口誠氏)より市内小学校や坂本図書館へ合計35冊の図書を寄贈していただきました。ありがとうございました。

寄贈図書である「おかねってなあに？」はおかねの大切さを渋沢栄一翁から学ぶという視点で書かれた絵本です。大河ドラマと一緒に楽しんでください。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

正欲

朝井リョウ 著
新潮社

正しさとは何か？欲望とは一体何なのか？

近年LGBTQに対する理解は急上している中、同じく「多様性のある社会は誰もが生きやすい社会」と認知されてきている。そんな多様性に一石を投じる本作。特に深く考えもしなかった常識や価値観が崩れた時、あなたはこの小説を読んでどう考えますか？作家生活10周年を記念して書下ろされた、気迫の長篇小説です。

(檜田)

(児童)

すっぱいのひみつ

赤野裕文 著
金の星社

レモン、うめぼし、お酢など思いうかべるだけで唾液が出てきてしまう、すっぱいものたち。くだものに入っている酸の違いや歴史、料理につかうとおいしく、健康にもよいとされるすっぱいもののひみつをさぐっていく一冊になっています。

読んでいる内に、口の中がすっぱくなってしまいかもかもしれません。

すっぱいものの一つであるお酢、その中に卵を入れるとどうなる？など、身近なものでマジック！親子で楽しく学んでみてはいかがでしょう。

(尾崎)

(児童)

「暮らしとからだに効く植物の名前」

主婦と生活社

見ているだけでも癒される庭の草花。自分が育てたものなら感慨もひとしおです。しかし、育てて愛でるだけではもったいない！日々の暮らしに取り入れてみませんか？

エディブルフラワー（食べられる花）でサラダを彩って気分を上げたり、ペパーミントの抗菌効果と清涼感をマスクスプレーに、など他にも食べて飲んで使って暮らしにプラスαな植物300を紹介。使用例や簡単な作り方も掲載のボタニカルライフが充実する一冊です。ガーデニングにぴったりのこの時期にぜひ読んでみては？

(山口)

(一般)

でんしゃとしょかん

深山さくら 文/はせがわかこ 絵
文研出版

広い団地の中の公園にあるのは、子どもがたくさん集まるでんしゃとしょかん。

電車の中にたくさん本が並び、地元のボランティアの人たちが掃除してくれたり、本を並べたり、貸出をしてくれます。

ある日、座席や外壁が汚れてしまっていることに気づいた地元の人たちは…。

実際にある東京都「くめがわ図書館」をもとに書かれた絵本です。

(岡村)

東京2020オリンピック聖火ランナー（前編）

山下量子

「見たよ見たよ！」「出ちよったね！」
町の人から、そんな風に声をかけられるようになった。

理由は間違いなく2021年4月19日のこと。宿毛市で行なわれた東京2020オリンピック聖火ランナーとして走ることが出来たからだ。

奇しくもこの図書館だより「さくら」で執筆を一緒にさせていただいている松沢さんも同じく聖火ランナーということで、今回の記事は、前編が私、後編が松沢さんとコラボで書かせて戴きたいと思う。

思い起こせば2年前。聖火ランナーの募集があると耳にしたのは、当時所属していた青年会議所の会議の中だった。その瞬間に「やりたい！」そう思ったのを覚えている。その日、会は夜遅くまで続いたが、帰るなりネットで「聖火ランナー募集」と検索し、詳細を調べた。

高知県でもあること。200mの距離であること。比較的誰でも応募出来ること。

「これはもう申し込むしかない！」そう思った。

私が20代の頃はライフセーバーをしていた時期があり、その頃は走ったり泳いだりは日常だったが、今はすっかり動かなくなり、当時の体型とは全く変わってしまった。けれども200mなら今の私でもどうにか走れるかもしれない。

何よりも日本で開催されるオリンピックにその一端でも携われたら、それは無上の喜びだと思った。おそらく、そんなチャンスは、私が生きている限りもう無いだろう。

聖火ランナーの公募は、日本生命、NTT、TOYOTA、COCA-COLAの4社が行なっていた。私はどんなチャンスも逃したくないと思って、4社それぞれに応募をした。

一番悩んだのは、自己PRだ。私は何かハンデを克服して活躍している実績もなければ、芸能人なわけでも無い。だから、私に出来ることは、今まで自分がしてきた活動を書くことだけだった。

通常、自己PRなんてしたことが無い。恥ずかしくて全面にそれを言えるタイプでもない。けれどこの時だけは、全てを掻き集めて、人生初の、人生全ての全力PRをしたのだった。

全ては世界の平和の祭典オリンピックに携わるため。

私の渾身の自己PRが効いたのか、NTTさんに聖火ランナーとして選出していただいた。（NTTさんありがとうございます）

振り返って見ると、私の中に「世界」というワードは常にあったと思う。母がアメリカの大学を出ていて、当時の白黒写真を映写機で写して見るのが幼少の楽しみだった。当時アメリカにいた叔父がくれる見たこともないお菓子やおもちゃのプレゼントは、いつも私の心を躍らせた。やがて、海外の切手やコインを集めることに没頭し、まだ見ぬ世界と、まだ見ぬ文化の違いの人々との出会いを夢見た。

大人になった今、インバウンドを意識して民家を利用したゲストハウスを開いた。本業の傍らの小さな地域活性のつもりだったが、コロナ禍の前は、思いのほか世界の国々からお客さんが来た。アメリカ、イギリス、カナダはもちろんのこと、イタリア、フランス、オランダ、フィンランド、ドイツ、スペイン、スイス、ルーマニア、台湾、中国、韓国、ジャマイカ、オーストラリア、イスラエル、ルクセンブルク、オーストリア、ペルー。

様々な国の人とこの宿毛で会ってきた。誰もがとても素敵なお客さんたちだった。

昔、戦い合った国でも、今でも確執がある国でも、人は人で、私とまったく同じ様に感情を持ち、まったく同じように人生の悩みを持ち、夢を持ったりしていた。誰もに家族がいて、誰もに大切に思う人がいた。誰もが同じような人間だった。

そんなことを思い出しながら迎えた聖火ランナー前日。無性に聞きたくなってYOUTUBEで聞いた歌があった。2015年のヨーロッパ競技大会開会式にレディ・ガガが白いドレスで歌った「IMAGINE」だ。

ジョンレノンの平和と人類愛の歌を、ガガがピアノを弾きながら歌っている姿を見ると、何故だか涙が溢れるのだった。それは国の垣根を越え、戦いの無い世界を望む声であり、その思いは私も同じだからなのかもしれない。

東京2020オリンピックはテーマに「多様性と調和」がある。大会がどのような形で行なわれようとも、もしくは中止となろうとも、オリンピックが掲げる多様性を受け入れ調和という平和を実現する。その思いが世界に確かに根付けば良いとそう願う。

こうしていよいよ聖火ランナー当日がやってきた。

ここから先は松沢さんに執筆のバトンをお渡しします。

～新着図書のご紹介～

一般図書



- 0 「すぐそこにあるサイバーセキュリティの罠」 勝村幸博
 1 『「利他」とは何か』 伊藤亜紗
 2 「土佐遍路道観自在寺道 1」 宿毛市教育委員会
 2 「史料で読み解く長宗我部」 高知県立歴史民俗資料館
 2 「映える幕末史」 スエヒロ
 3 「宿毛市都市計画マスタープラン」 宿毛市役所都市建設課
 3 「GIGAスクールはじめて日記」 棚橋俊介
 3 「コロナに勝つ経営」 鶴田東洋彦
 4 「大事なことは植物が教えてくれる」 稲垣栄洋
 5 「こどもおうちあそび大全」 横山洋子
 6 「袋栽培でかんたん野菜づくり」 梁川正
 7 「宮崎駿とジブリ美術館」 宮崎駿
 8 「きほんの疑問文ときほんの動詞でこれだけ話せる2コマ英会話」 工藤洋路
 9 「初詣で」 佐伯泰英
 9 「白鯨」 夢枕獏
 9 「52ヘルツのクジラたち」 町田そのこ
 9 「本好きの下剋上 第5部(5)」 香月美夜
 9 「キネマの神様」 原田マハ
 9 「アウトサイダー」 スティーヴン・キング
 9 「ドキュメント」 湊かなえ
 9 「正欲」 朝井リョウ
 9 「こころの散歩」 五木寛之

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「あやとり大全集」 野口とも
 「がっこうのおばけずかん」 斉藤洋
 「おいしい！ふしぎ！理科実験スイーツ」 WILLこども知育研究所
 『NHK「香川照之の昆虫すごいぜ！」図鑑 1』 カマキリ先生
 「学研まんがNEW日本の歴史」 大石学
 「三毛猫ホームズの宝さがし」 赤川次郎
 「みんなの津波避難22のルール」 永野海
 「目で見るとSDGs時代の異常気象のしくみ」 ジュディス・ラルストン
 「女の子だから、男の子だからをなくす本」 ユン・ウンジュ

絵本



- 「はろるどのサーカス」 クロケット・ジョンソン
 「ようかいむらのじごくえんそく」 たかいよしかず
 「1分えほん」 accototo
 「あなたのすてきなところはね」 玉置永吉
 「きたきつねとはるのいのち」 手島圭三郎
 「どこからきたの？おべんとう」 鈴木まもる
 「おかえり、ウミガメ」 高久至
 「ともだちいっしゅうかん」 内田麟太郎
 「いちわのからす」 長野ヒデ子
 「万次郎さんとたぬきのこ」 本田いづみ

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

5月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 ■ は休館日
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp